

# 研究所だより

第284号  
2009年9月1日  
発行：土佐清水市教育研究所  
TEL 82-3016

## <実りの秋 スタート>

夏休みも終わり、児童生徒の元気な顔・声が学校に戻ってきたことでしょう。休み中、それぞれが長期休業でなければ出来ない貴重な体験や研修・研究をされてきたことと思います。運動会（体育祭）をはじめ諸行事に多忙な2学期、地域の人たちと学校の関わりを深める機会の多い時期でもあります。益々多忙感は増大するでしょうが、蓄積されたエネルギーで実りの多い2学期であって欲しいと思います。

## <夏休み明けの学級作り>

40日余りの家庭主体の生活から学校生活へ戻ってきた子ども達にとっては、学校や学級で夏休み前に出来ていたことが出来なくなったり、築き上げたことが崩れたりしていることがあるので、再確認しながら、様々な取り組みを始めましょう。

### (1) ルール・マナーの再確認

みんなで気持ちよく集団生活を送るためのルールやマナーの意識が薄れ、夏休み前に身に付いていたものも忘れていくことが多いでしょう。

そこで、まず取り組みたいのは、人と関わる時や集団で生活する時のルールやマナーの再確認です。学級の実態に応じて、みんなが楽しく快適に学級で生活したり活動したり出来るように、ルールやマナーを数個決め、全員で守れるようにしましょう。

- ① 人と関わる時のルールやマナー
- ② 集団で生活するときのルールやマナー
- ③ みんなで活動する際のルールやマナー



ルールやマナーを確立するために、担任から強制的に守らせることは、子ども達からの反発を防ぐため、避けた方が良いでしょう。ルールやマナーは、人と関わったり、集団生活で楽しく活動したりするために、人間が編み出した生活の知恵であることを十分理解させた上で、子ども達自身で決めさせ、取り組むようにしたらどうでしょうか。

### (2) 各係活動や委員会活動の再確認

- ① 係の役割は固定化せずローテーションとし、色々な役割の仕事内容を体験させましょう。それにより、役割ごとに違う苦労があることが理解できます。
- ② 全ての子どもに、リーダーの役割を体験させましょう。
- ③ 評価を必ず入れる。分担だからやって当たり前でなく、それぞれの役割の人に「ありがとう」等の一声をかける雰囲気作りに努めましょう。認めてもらえる喜びの中で、役割活動に責任を持って取り組むようになり、学級への所属感を高めることに繋がっていくと思いますよ。

再度一人ひとりの役割と取り組む内容を明確にし、仕事内容は確実に取り組ませましょう。そして、成果を確認し評価をしていってはどうでしょうか。

## <担任が進める英語活動>

活動のねらいは、子どもの伝え合う力の育成にあります。しかし、初めて外国語活動を行う先生方からは、「『英語ノート』を活用した指導法が分からない」「英語の発音に自信がない」など、戸惑いの声が聞こえてきます。

- ① 英語活動のねらいは、英語力よりも「コミュニケーション能力を育てる」ということが目的です。この能力は、会話や表情、ジェスチャーなどの表現方法を通して気持ちを伝え合う力です。
- ② コミュニケーションを活発にするには、ALT任せではなく、担任と子どもが一体となった活動が極めて効果的です。担任と子どもの繋がりが非常に深いのが小学校の特徴です。たとえすらすら言えなくても担任が手本を見せれば、子どもは勇気を出して話そうとする気になってくるのではないのでしょうか。担任ならば、子どもの発達段階、関心、状況に応じた素材を用意することが出来ます。
- ③ 授業中に伝えたい言葉を英語で表現する際、どのような単語やフレーズを使えばよいか、分からなくなる事があると思います。そうした時は、ALTに質問したり、子どもと一緒に辞書を引いてみてはどうでしょうか。分からないときの解決方法を教えることにもなり、子どもが自主的に考え、学ぶ力も伸ばせるはずです。
- ④ 他の授業でも同じだと思いますが、とりわけ生きたコミュニケーション活動である英語活動では、「即興性」も大切です。活動計画通りに進めることにこだわりすぎず、子どもの関心や授業の流れをきっかけに活動を広げていくことを楽しみましょう。
- ⑤ ゼロから指導案を作り上げるのは大変です。「英語ノート」はコミュニケーション能力の育成を目的として作られた教材なので、それを活用しましょう。ただ、そのまま使うと子どもの実態にそぐわない場合もあります。「英語ノート」を基本としながら、子どもがコミュニケーション活動をしにくい点はアレンジして使うと良いでしょう。

## 取り組みの3つのポイント

- ① 英語活動への子どもの意欲を高めることを重視し、「分かる」「楽しい」という気持ちになるような活動を目指す。
- ② 担任は進行役、ALTはサポート役となり、子どもの実態に合わせた活動を展開する。
- ③ 「英語ノート」を基にししながら、子どもの実態と照らし合わせてゲームを組み込んだり、活動の流れを変更したりして活動計画を立てる。

## <英語本購入>

「日本むかし話・全10巻」を購入し研究所においています。児童への読み聞かせ等にご利用ください。(CD/日本語版付き)  
「ももたろう」「かさじぞう」「さるかにかっせん」  
「かもとりごんべえ」「ねずみのよめいり」「かちかちやま」  
「おむすびころりん」「はなさかじいさん」「したきりすずめ」  
「うらしまたろう」

